

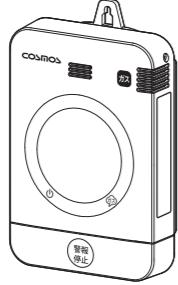
家庭用・業務用兼用

ガス警報器

型式名 XL-175G

施工説明書【施工される方へ】

お客様にこの警報器を安全に正しくご使用いただくために、この施工説明書をよくお読みいただき、指定された取り付けを行ってください。



1 お願いとご注意

警報器を正しく設置していただくため、また、あなたやお客様への危害や財産への損害を未然に防止するためにこの施工説明書には、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようにになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

! 警告

作業を誤った場合に、取付作業者および使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

! 注意

作業を誤った場合に、取付作業者および使用者が傷害を負う場合または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

2 施工される方へのお願い

●警報器を更新する場合は、交換前の警報器の電源プラグ部分について以下の確認を行い、お客様に正しい取扱方法を説明してください。

①電源プラグの刃が曲がっていないか
曲がっている場合は、電源プラグに大きな力を掛けないようにしていただくことを説明。

②予備コンセントに接続される機器のプラグが曲がっていないか
曲がっている場合は、接続される機器のプラグに大きな力を掛けた使い方をしないようしていただくことを説明。

③予備コンセント部が焦げていないか
予備コンセントの容量を超えた消費電力の機器を接続しないようにしていただくことを説明。

④予備コンセントに接続される機器の消費電力が予備コンセントの容量を超えていないか
予備コンセントの容量を超えた消費電力の機器を接続しないようにしていただくことを説明。

⑤電源プラグ部分(予備コンセント含む)に水分やほこりがかっていないか
電源プラグ部分(予備コンセント含む)に水分をかけないこと、ほこりがかかっている場合は取り除いていただくことを説明。

●取付終了後に施工説明書に従って「6-1 自動初期点検機能の確認」、および必要に応じて「6-2 作動点検」を行ってください。なお、作動不良の場合は交換してください。

また、外部機器と連動した場合は、外部機器の取扱説明書、施工説明書に基づいて連動確認をしてください。

●必要に応じて、「3-1 警報器の説明」「3-2 お客様への周知事項」についてお客様に説明を行い、ご理解を得てください。

●警報器を梱包から出された状態で持ち運びまたは保管しないでください。

△注意

警報器には、落下などの強い衝撃を与えないように、取り扱いには十分に注意してください。
故障や誤作動の原因になります。

■別売品

| 部品名 | 型式名 | 機能 |
|----------|--------|---|
| 警報器アダプター | OC-4Ma | マイコンメーターと接続する場合に使用。 (有電圧出力信号を受けて、フォトトランジスタオープンコレクタ出力を出す) |
| 戸外ブザー | EB-8 | 離れた場所に警報を出したい場合に使用。 (有電圧出力信号を受けて、ブザー断続音とランプ点滅で知らせる) |

3 お客様への説明について

3-1 警報器の説明

- ①警報動作および自動初期点検機能の結果の説明。
作動点検をした場合は、作動点検の結果の説明。
- ②取扱説明書を必ず読んでいただくこと、取扱説明書を保管していただくことのお願い。
- ③取扱説明書に基づく主要な機能の説明と確認。
 - 1.ガス警報の内容(赤(ガス警報)ランプ点滅・点灯、音声合成音の確認)と、警報時にとるべき処置の説明。
 - 2.部屋の外において、ガス警報に気づいたときにとるべき処置の説明。
 - 3.誤報が発生する原因と処置の説明。
 - 4.スイッチ操作の説明。
 - 外部機器との連動点検
 - 警報音停止
- 有効期限切れ音声機能

3-2 お客様への周知事項

- ①保証期間5年。
- ②警報器の有効期限のお知らせ。
(本体に貼付の有効期限ラベルに表示)
- ③保証書を必ず読んで内容を理解した上で取り扱うこと。
- ④警報器の移設禁止。
(移設依頼時の連絡先)
- ⑤警報器の分解禁止。
- ⑥引越時の処置。
- ⑦故障・異常時の連絡先。

4 取り付け前の確認

4-1 警報器の確認

- 本体、電源コードに異常のないことを確認してください。
- 取り付ける警報器が都市ガス(空気より軽い12A・13Aガス)用であることを確認してください。

4-2 梱包部品の確認

梱包部品の種類と個数を確認してください。

| 本体…1個 |
|------------------|
| コード振れ止め…3個 |
| ピン 長さ20mm…10本 |
| 木ねじ 長さ16mm:1本 |
| 取付フック…1個 |
| 取扱説明書(保証書付)…1冊 |
| 施工説明書(本書)…1枚 |

4-3 取り付け位置の確認

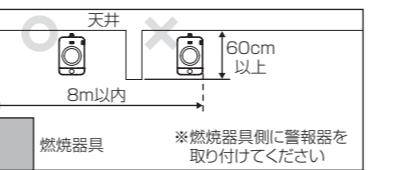
設置場所の選定については、お客様とよく相談して決めてください。

△注意

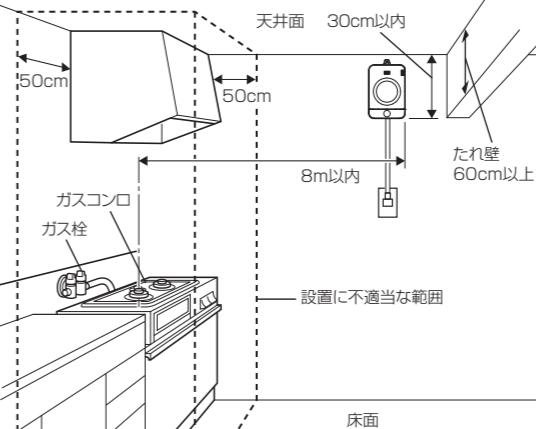
正しい取り付け位置に取り付けてください。
取り付けてはいけない場所に取り付けると、警報の遅れ、誤報、故障の原因となります。
既存の警報器の取付板に新しい警報器を取り付ける場合についても、正しい取り付け位置に取り付けられているかを確認してください。

正しい取り付け場所について

- ガスを検知しようとするガス機器を設置している場所と、同一の室内に取り付けてください。
- ガスが漏留しやすい位置で、緑(電源)ランプの確認しやすい位置、点検が容易にできる場所へ取り付けてください。
- ガスを検知しようとするガス機器(一定位置に固定しないで使用されるガス機器の場合はガス栓)から、水平距離で8m以内、警報器の底面から天井面までの距離が30cm以内に取り付けてください。
- 天井面が60cm以上の突出したたれ壁などによって区画される場合は、たれ壁より燃焼器具側に取り付けてください。



■取付例 ※天井面に接近して取り付けると、天井面が黒ずむ場合があります。



③設定変更モードでは、警報停止スイッチを押すたびに以下の警報内容が選べます。

| 操作順 | ランプ | 音声お知らせ | 警報音設定 |
|-----|------------------|----------|-------|
| 1 | | 「ブザーです」 | ブザー |
| 2 | 全ランプが 1秒毎2回点滅 | 「Danger」 | 英語 |
| 3 | | 「危険」 | 中国語 |
| 4 | | 「音声です」 | 日本語 |

④上記で選んだ設定の状態で、警報停止スイッチを3秒押し続けるか1分以上押さずにいると「ピー」と設定変更モードの終了音が鳴り、電源投入時の緑(電源)ランプ点滅状態へ移行します。

※設定を切り替えた後は、電源プラグを抜いても、切り替え後の設定を保持しています。

※英語や中国語に音声を切り替えた場合は、日本語と英語(または中国語)が交互に鳴ります。

5-3 警報器本体の取り付け

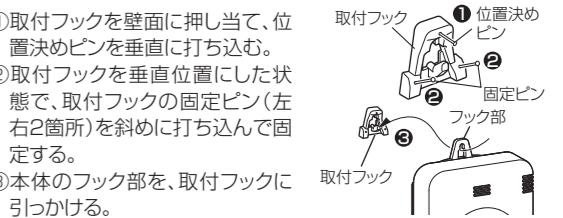
△注意

- 取付位置の材質・強度を確認し、土壁や強度の弱い合板には取り付けないでください。
- 警報器の取付時に、警報器を落とさないように注意してください。
センサの断線など、正常に作動しない恐れがあります。

付属の取付フックで取り付ける場合(石膏ボード壁専用)

△注意

- ピンを指に刺さないように、取り扱いには十分注意してください。
- 取付フックにピンを差し込むときは、穴が硬いので十分注意してください。
- 取付強度を保持するため、ピンは根元まで確実に打ち込んでください。
- 万一、ピンがゆるんだ場合は、取付位置をずらしてピンを付け直してください。



木ねじで取り付ける場合

- ①木ねじ(16mm)を途中までねじ込み、仮止めする。
※コンクリート壁の場合は、市販のカーループラグを打ち込んで木ねじを使用してください。
- ②電源コードをコンセントまでの長さに合わせて取り出す。
- ③仮止めした木ねじに、本体のフック部を引っかける。
- ④木ねじを締め付け、本体を固定する。

既存の取付板に取り付ける場合

警報器本体を図のように取付板に取り付ける。

